

わたしたちの町

人口(男).....4,586人
(女).....4,902人
合計.....9,488人
10月中の転入.....24人
転出.....22人
世帯数.....2,315世帯数

(11月末日住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和58年12月23日 第307号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、中学校生徒会に委託して各家庭に配布しています。(発行予定日毎月20日) 広報への意見や話題などをお知らせください。

'83/12

307号



「ヨイショ、おいしそうにつけたぞ」 あいどりと息を合わせて

収穫感謝の集い

「私たちは、家庭で田んぼに出ることは少ないし、出ても機械仕事が多くて、農作業にふれる機会はほとんどありません」と、生徒会長鈴木光博さんが農作業の喜びのあいさつ。全校生徒で収穫感謝の拍手を行い、もちつきに入りました。
中学校では一年生が大豆づくり、二・三年生が四十アールの水田に挑戦。はだしになっての手植え作業、手刈りの収穫作業に汗を流しました。大豆は枝豆にして学校給食に利用。そして米の一部をモチ米と交換して、十一月二十六日にもちつき会を行ったものです。
各クラスのうすに、ふかしたお米がほうり込まれると、「つく人」「あいどりと」交替で大喜び。車座になって見守る人たちに、もちの汁が飛び散ったりして、大歓声が響いていました。
今年の学校田は記録的な大豊作。売り上げの一部は、「いなほ文庫」として図書を購入にあてることにしています。

合川中学校もちつき大会

工場誘致奨励条例を制定

国保基金は八千三百七十万円に

町議会十二月定例会は十二月十二日に開会されました。冒頭の行政報告で町長は日本海中部地震に対する義援金等について報告。阿仁合線や水田再編など当面する諸課題について方針をのべました。

町長の行政報告から

日本海中部地震による本町の被災に対し役場及び南小学校に義援金など八百二十五件四千二百二十一万九千二百三十円を受納しました。これまで三回の配分委員会を開き、その話し合いにもとずいて配分を行なっています。(内容は広報次号で詳しくお知らせします) 深い悲しみの中で、心暖い励ましに支えられて、一日も早い立ち直りを願ってまいりましたが、十一月十六日付で九名から損害賠償請求がなされました。議会の意向もふまえ弁護士(伊藤彦造氏)秋田市を依頼しました。

可決された主な議案

▽合川町工場誘致奨励条例
町内に五千万円以上の投下資本(工場用地は二千万円)で工場を新増設した場合、その固定資産税を三年間、実質免除することとしたものです。
▽昭和五十八年度補正予算
一般会計で災害復旧費二千三百五十万円、給与費の追加など四千九百六十九万九千円を追加しました。国民健康保険特別会計では基金積立金に三千万円を追加し基金総額は八千三百七十万円になりました。

大型協同店舗などを答申

商業機能諮問委員会

町内の商業活動の発展を図るため町では商工会、議会など関係者十五名に委嘱して、意見書の提出を求めました。十二月五日、商業機能促進対策諮問委員会(委員長 小笠原勝郎 教育民生委員長)の答申書が町長に提出されました。諮問委員会では会議を重ねるとともに、アンケート調査や現地調査などを実施。商業開発と関連する諸施策について協議しました。

答申では宅地開発、▽大型協同店舗の開設、▽ヘリコプター発着場の設置、▽文化財保護温泉開発など観光開発などが提言されています。

衆議院議員選挙 町内開票結果

Table with 2 columns: 有権者数, 投票者数, 投票率. Lists candidates and their vote counts for the assembly election.

しめなわづくり

増沢ことぶきクラブのみなさんのしめ縄づくりが始まりました。お正月には玄関を飾り、また最近では車前にもはられています。災害をほらい、心を清めるしめ縄ですが、「手作り」となると、福の神もたくさん入ってきそうです。増沢ことぶきクラブのしめ縄は、町外からも注文があるといわれています。生きがい活動の仲間づくりが、しっかりと定着しています。
年末の味覚として古い歴史があるのは「道城のそば」です。そばには「幸せが、そばに寄って来るように」「幸せがそばのように長く続くように」という願いがこめられているといえます。もともと、そば粉の多いものは短く、切れやすく「不幸が長く続かないように」という願いが本来の意味だといふ説も聞かれます。
ともあれ、おだやかな年末を、そして良き新年をお祈りします。
(元旦の午前九時から町長が広報無線で、年頭のごあいさつを申し上げます)



町長日記から

師走も押しせまり、雨から雪、雪から雨と天候も不順になり、もろもろの勘定などが多くたいへんあわただしい。普段、静かにお経(きょう)をあけている和尚(おしょう)さんもお早に走るように忙しいので、師走、というそである。学校の先生もテストや高校進路など何かと忙しく、これまた「師走」の季節である。衆議院議員の選挙もまた、諸先生がバッチナして新しい成長への階段である。(義)

# 人形の楽しさ 教えてくれて ありがとう

## 人形劇フェスティバル

猿倉人形劇が秋田県無形民俗文化財に指定されて十周年を記念する「人形劇フェスティバル」が十二月四日、農村環境改善センターで開かれました。公演には吉田千代勝一座(増沢・杉測・喜代三さん・ハルさん)をはじめ三組の人形一座が出演。つめかけた子どもたちからお年寄りまでの参観者に夢いっぱい舞臺を楽しませてくれました。



千代勝・千代海の息の合った伝統芸は海外でも「神技」と賞讃された



「人形に魅せられて、鬼神のお松」に泣き出す子どもも。「かんとつおしょう」では大笑い。



「出番を待つ吉田さん手造りの人形たち。」



「おおかみと子ぶたのサンタラポッチ(秋田市)と猿倉人形の伝統を引きつぐ佐藤幸吉さん一座(山形県)が競演



「おつかみと子ぶたのサンタラポッチ(秋田市)と猿倉人形の伝統を引きつぐ佐藤幸吉さん一座(山形県)が競演

## 民生委員に

### 今月から新メンバーで 社会福祉に献身

新しい民生児童委員とその担当地域は次のとおりです。くらしの中の困りごとや子どもとの相談などを、どうぞ気軽ににお寄せください。

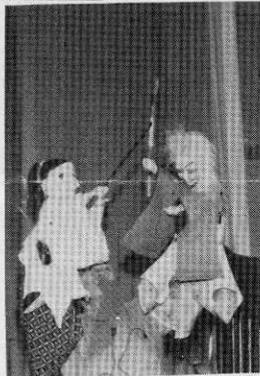
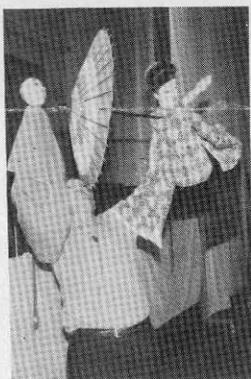
(敬称略)

道城 津幡キヌ 上杉 坂上理一 疋田 国郎 下杉 木村吉治 駅前 米倉幸美、桜田勝次、三浦

社会福祉の地域と行政とのパイプ役「民生児童委員」が今月から新メンバーになりました。民生児童委員の任期は三年。町内各層からの民生委員推薦の推薦と県知事の推薦により厚生大臣から委嘱されるものです。前任者の任期が十一月いっぱい満了したため、新任委員四名と再任委員二十四名に委嘱状が交付されました。

民生児童委員は、福祉活動全般について重い責務を任せています。ひとり暮らしのお年寄り、生活保護世帯、母子父子世帯などの福祉世帯の協力助言、児童の健全育成対策など、あらゆる生活上の相談が民生児童委員を通じて、各機関に届けられます。そのため、民生児童委員は、社会の信頼があつく地域の実情にわしく福祉に熱意のあることが要求されています。

「火花の出る刀。口にしかけをくわえて変身。ユーモラスに回るかさ。手妻(手品)使い」の芸がさえる。



## くらしの相談をどうぞ



寿治、佐藤英治、川井 村形みる、吉田敬市郎  
桃栄、梅栄、弥栄、金沢 耕一、八幡倍 高  
橋鉄雄、木戸石 畠山謙治、藤島清吉、美栄 豊  
村市郎、増沢 小笠原進一、新田目 齊藤澄子  
福田 新田テイ、李岱 成田東蔵、近藤ヌイ、羽  
根山 羽立 松岡一三、東根田 桜田弘三、西  
根田 金田市蔵、芹沢 土濃塚恵美、三里 松橋  
国雄、三木田 麻当 三浦克昭、鎌沢 鈴木ツヤ  
杉山田 雪田 伊藤欣一

## おひせ コロナ

の対象者は公民館(電話二一四)にお知らせください。日時 一月四日(水)午前九時半から  
会場 町立農村環境改善センター  
日程 式典・記念講演・新成人のつどい

## 町のこよみ

- 28日 仕事納め
- 12月 月
- 4日 仕事始め
- 4日 成人式
- 5日 消防出初式
- 8日 婦人問題研究会
- 15日 町民スキー大会
- (大野台ハイランド)
- 22日 合川町教育を語る会
- 成人学級(林業部)十周年記念講座

## 新入園児を 募集します

町立の四保育園では、来年度四月からの入園希望者を次のとおり受け付けます。  
資格 昭和五十三年四月二日以前に生まれた児童  
申込期限 一月十日(火)から一月三十一日(火)  
申込先 役場福祉課(二二二)  
東保育園 (二二〇) 九  
西保育園 (二二七) 九  
南保育園 (二三四) 二  
北保育園 (二〇三) 四  
定員 六十名  
申し込み用紙の請求、くわしい問い合わせも、福祉課または各保育園にお寄せください。

## 合川町成人式 お知らせ

町の成人式は次のとおり開かれます。本人または父兄あてに案内状を発送しますので、連絡を取り合ってください。  
対象 昭和三十八年四月二日から昭和三十九年四月一日までに生まれた人。町で生まれた人または現在、町に住んでいる人で合川中学校卒業生以外

## 新農業の担い手 県立営農大学校 入学生募集

近代的な農業を学ぶ地域の担い手として生きた経営能力を養う実践的な教育が特色です。畑作園芸、果樹、畜産の選択三部門と稲作の複合課程。申込、問い合わせは県立営農大学校(三二二四四)にお寄せください。

## 年金 つないで受 給通算年金

現在の年金制度は、国民年金、厚生年金、船員保険、それに五つの共済組合があり、それぞれの年金制度で老齢年金(または退職年金)受給に必要な期間が異なります。長い人生の間にはいろいろな職につく人があり、また、出かせぎの場合など、一年のうちに入年金が変わる人もいます。各制度の加入期間を合わせて一定の期間があれば、年金を受けられるのが通算老齢年金です。

## 献体登録の お願い

献体登録は死後に自分の遺体を医学教育に役立てたいと考えている人が生前に登録し、その意志に従って遺族のかたなどが遺体を提供するものです。医学を守るためにも、どうしても必要な制度ということで、広く登録の呼びかけが行われています。くわしくは秋田大学医学部白菊会(秋田市・電三三一・一六六)におたずねください。

## 雇用保険は 正しい申告で

雇用保険の失業給付制度は、失業した人たちの生活の安定を図り、就業を促進するためのものです。正しい申告で、公共職業安定所に相談ください。

## タバコは町内で 買いたしません

町内でタバコを買おうと、銘柄に関係なく二十本入一箱当り、三十二円が町の収入(タバコ消費税)になります。五十七年度では約二千四百万円が納入されました。タバコは町内で「小さな心がけが、町の大きな発展につながります。

## サンタさんが はしれません?

サンタクロースはそりで行けるのかな? 車で行けるのかな? 除雪がよくないと、サンタクロースがこまります。  
路上駐車は絶対にやめましょう。  
道路に雪をすけると、デコボコの原因になり事故の危険があります。  
側溝のグレーチング(網ふた)はすくにしめておきましょう。

## 民生委員の 心配ごと相談

一月二十日(金)・老人憩の家とぶき荘で、午後一時~三時 悩みごと、こまりごと、苦情などを気軽に寄せください。

## 年末年始を 無事故無火災で すごしましょう。

みんなの道路を  
広く安全に  
利用しましょう。



たずねた人



木戸石 藤島 伸一さん



川井 佐藤 冬和さん

# 役場訪問 何でも聞いてみます ⑥

**農林課の主な仕事**

- ▽農林業の振興のための計画や各種事業
- ▽技術改善や農業青少年の育成
- ▽生活改善
- ▽山村振興
- ▽土地改良や農林道整備
- ▽農業総合指導センター
- ▽大野台農業開発など農用地開発
- ▽農業災害復旧事業
- ▽水田利用再編対策
- ▽休養施設建設運営



● 答えた人 ●

農林課長 杉 淵 光 徳

**モニター** 大きな課題は水田再編の三期対策だと思えますが、どんな内容になっていますか。

**課長** 面積の再配分に加えて補助金が減り、新たに多用途米という考えが明らかにされています。細部については例年、年末ぎりぎりに内容が示されておられ、各部落の水田再編協議会の話し合いをお願いすることになります。

**モニター** 五十八年度の水田再編はどうなっていますか。

**課長** 面積では一〇五％達成の予定ですが、町では補助金の多い計画転作、団地化を呼びかけています。二十七集落中十六集落で計画転作、十一集落で団地化が行われました。作目は大豆飼料作物で八十一・一％です。

**転作を複合化に結びつけて**

**モニター** 内容的にもっと収入に結びつく転作を確立する必要がありますか。

**課長** 「水田として条件の悪いところを転作にする」という考えではなく、転作で稲作以上の収益をあげる方向が大切です。展示圃の設置やモデル集落の指定など、転作の質的な向上を図っています。

**モニター** きゅうり、山ごぼうは良い成績をあげているようですが、町の指定作目はあるのですか。

## 強力な指導と開発を期待しています

**課長** 農業は創意と努力によって無限の可能性があるので、行政が果たすべきことはそうした農業者の活力を育てることです。研修などを通じて「意欲づくり」に努めており、そうした中から生まれた「作目」などについては、できるだけ対応するという方針です。

**モニター** 多用途米は、今の米の流通制度を揺るがすような心配があります。町ではどう取り組みますか。

**課長** 一俵一万円で米を一定面積、転作作目と認めるとのことです。安易な導入には問題が多く、より高度な作目の導入をすすめていく考えです。

**モニター** ところで合川町の水田面積はどのくらいですか。

**課長** 農家千四百戸で千三百八十ヘクタール。一戸当りでは九十九アールです。

**モニター** そこから得る収入はどれくらいですか。

**課長** 水田の所得率は平均六五％とされていますから一ヘクタール百十万円程度と見ています。

**モニター** 稲作の所得が少ないのは機械のムダや、労働力の問題もあると思うのですが。たとえば麦をうるとコンバインが使える。

**課長** 稲作を省力化して、家族の労働力を複合部門に有効に活用することは、長生きの町づくりに役立ちます。麦は雪害対策が課題ですが、機械を遊ばせないという考えは必要です。

## 意欲を育て 魅力ある農業をめざします

**モニター** 夢のように語られていた大野台農用地開発の構想が具体化しつつあるということ、実現を願っています。

**課長** 農業は一年一回、という考えではなく、一年に何回、数年で何回という組み合わせが可能なので、そうした視点から団地化によって特産化していくことが課題です。

**モニター** 朝市はあっても、農家の人たちは何も売っていません。考えさせられてしまいました。

**課長** 企業誘致、観光開発など、人が集まる要素はあるわけですが、これは有利な条件にはなりません。

**モニター** 米以外の農業というところで肉牛施設ができ、ガラス温室が建てられるわけですが、こうした事業のねらいはどういうことでしょうか。

**課長** 肉牛施設は二十頭七棟です。高品質の肉牛生産による複合経営の確立をめざすと同時に、飼料作物と転作との組み合わせ、地力の向上のねらいがあります。新農業構造改善事業で建設が進んでいるガラス温室には町のモデル的な成果を期待しています。

**課長** 農家の意向が大切ですから意向を調査し、また計画の具体化にもなって話し合いを重ねていくことになりそうです。

**モニター** 農業の国際化というのをよく聞きます。それに対応する力を持つためには大野台の農業地開発は、ぜひ必要だと思えます。

**課長** 若い農業者の皆さんがそうした展望に立って、町の農業を考えていることをたいへん力強く感じています。この度の園芸施設をはじめ、町の仕事と皆さんの意欲がうまくかみ合っていくことが大切だと思います。

**各種事業を積極的に導入**

**モニター** 農村総合整備モデル事業による仕事は、全町的に行われているようですが、どのような内容ですか。

**課長** 農道・集落道の整備が二十八路線一キロメートル、家庭排水施設四集落、農村公園六カ所、それと昨年できた農村環境改善センターの建築などがモデル事業の内容です。

**モニター** 広報前号で紹介された新農業構造改善事業の内容はどうなっていますか。

**課長** 今年度中にガラス温室の施設ができました。来年度は農村運動広場（東保育園むかい）を造る予定です。その他、集出荷施設、貯蔵施設などが計画されていますが、大野台農用地開発など町の農業の変化にあわせて事業を行なっていくことにしています。

**モニター** 広報前号で紹介された新農業構造改善事業の内容はどうなっていますか。

**課長** 今年度中にガラス温室の施設ができました。来年度は農村運動広場（東保育園むかい）を造る予定です。その他、集出荷施設、貯蔵施設などが計画されていますが、大野台農用地開発など町の農業の変化にあわせて事業を行なっていくことにしています。

**モニター** 指導センターの建築も計画にあるようですが、ぜひほしいものです。それと実験圃場のようなものを設ける計画はありますか。農協をはじめ技術から経営までもっと強力に指導する機関が必要ではないでしょうか。

**課長** それらも、何を生産するかという点の関連があります。将来構想の中で、具体化させていく方針です。

**モニター** 林業関係の事業もたいへん多く、ハイランドの宿泊施設はすばらしいと思います。

**課長** ハイランドの休養施設、施設や展示林は林業構造改善事業で実施したものです。来年は木工品製造販売施設を作る予定です。

**指導センターの活用**

**モニター** 今の指導センターのしくみはどうなっていますか。

**課長** 役場・農協・農業普及所など農業関係の機関団体で構成し、事務局を農協においています。

**モニター** 農協に行っているのは良い方式だと思えます。

**課長** 水田再編の対応をはじめ、農業についての英知を結集したいというねらいです。モニター二十代の農業者がたいへん少ないことを不安に思っています。

**課長** 農業が魅力ある職業になれば、後継者が育つはずですが指導センターを中心に中核的な担い手の皆さんとともに町の農業をつくっていきたいと思います。

**モニター** 高度利用推進対策事業の身を教えてください。

**課長** 農地一ヘクタールを五年以上貸すと二万円、五年以下の場合は一万円を貸し手に交付する制度です。土地の貸し借りが安心してできる制度ですので農林課窓口で相談したいと思っています。

**モニター** 農地を手離す人がいないため規模拡大は進まず、農業者が育ちません。

**課長** 今の企業を見ると、兼業は難しくなっています。土地の流動化は進むと見えます。

**モニター** 農業関係の貸付制度もあると聞きますが。

**課長** 農林漁業金融公庫の資金などは、低利で活用できるものです。農林課に気軽に相談したいので、できるだけ有利な資金を利用してもらえればと思います。

**モニター** たいへん幅広く仕事の内容をうかがいましたが、簡単に言うとうとういうことでしょうか。

**課長** 農家の人たちの生産活動を向上させること、そのための条件を整備すること、あわせて住みやすい農村環境をつくること、まとめるとこれが農林課の仕事です。

**モニター** 農業は食糧をつくるという意味だけでなく、自然を守るという意味でも、大切に育てたいのです。

**課長** 田園は美しく、そして大きな大きな木よりも水を守り風土を守る。幼児から土に親しみ、心豊かな町をつくりたいと念じています。

# のびのび遊び、きまりを守る

## 保育を語るつどい

「保育を語るつどい」は十一月二十三日、農村環境改善センターで開かれました。このつどいは、四保育園の園児父親が呼びかけて、保育園関係者が一同に集まって子育てを語り合おうと、毎年開かれてきているものです。



つどいには、参加者のための特別保育室も設けられ、子ども連れの参加者が目立ちます。講師の秋田大学 倉田正義助教授が「のびのびあそび、きまりを

## 親子で楽しむ 若妻のつどい

「全町若妻のつどい」は十二月四日、町民体育館で開かれました。今年も「新体育館を利用した親子で思いやり遊び」と呼ばれ、はしゃぎ遊びや親子たちとお母さんたちの活発な声が響いていました。

開会あいさつをかねて町長が「生活習慣の知恵」と題して講話。生活の知恵と、歴史や風土との深い結びつきを語り、子育てなどについて講演しました。親子競技はボールや新聞紙を使って楽しいゲームがいっぱい。子どもにも振り回されるように走るお母さんたちもいかに楽しんでおりました。

午後のはくダンスの集い。手づくりの昼食をはさんで、親子ふれ合いの時間です。体を動かして汗を流して、新体育館でのうれしい一日でした。

テレビなどで伝えられる子育ての問題を中心に講師に質問。百名をこす参加者は、わが子、園児たちの姿と重ね合わせるように熱心な視線をおくっていました。

西ドイツのウルム市の場合を例にとる。カトリック、プロテスタントといった宗教関係の団体やスポーツクラブ、又は音楽や演劇、ボーイスカウトなどの各種団体やサークルに入って活動している八歳〜二五歳の青少年は約六割から七割に達している。

また西ドイツの余暇利用としてスポーツクラブの隆盛がよく知られており、ウルム市ではスポーツクラブ数三六、会員数二万六千人を誇っている。この要因としては、西ドイツの学校のほとんどが午前中授業が終わり、日本のよ

## 西ドイツの青少年の 余暇活動について

昭和五十八年度秋田県海外研修参加  
吉田 稔くん(川井)

うに午後からクラブ活動を教師が指導したりせず、すぐに帰宅してしまうのである。西ドイツ国内でもこれでは余りにも教師と生徒の関係が薄くなり、教育的に問題があるという意見が出ている。余暇時間、麻薬、アルコール等非常

行に走らぬ親親子で入会しているケースも多い。西ドイツの青少年は、個人主義の思想が根底に流れている為、余暇時間を社会の為に役立てたいと思う人は半数位で、自分の為に使いたいと思っている人も多い。これは戦争による長い侵略の歴史から地域との結びつきが薄いのであるが社会を無視している訳ではない。日本のように地域の為に団体や地域共同体として余暇活動をするには必要なことであるが、その中で個人が生かされていないという欠点を克服しなければならぬ。彼等は、年齢が若くてもしっかりと自分の意見を持っている。日本人にはない強みである。余暇活動には、非行など様々な社会問題の危険を抱えているが、学校以



西ドイツバードゼーゲベルグの学校で



# わが家の わたしの 宝もの

## 豆腐づくり道具

生きがいを地域とともに

川井 佐藤オマさん

オマさんは毎朝3時起床。6時までにその日の豆腐をしあげ

ます。「やめようと毎年考えるのですが、部落の人たちが、やめるなと言ってくれるので、何とか続けています。78歳。配達は家の人たちが手伝っています。「戦前は酒や砂糖を売る店をやつて、戦争で売物がなくなって、ヤミで買って続けることもできなくて、じいさんの実家が豆腐屋だったんで、戦争後まもなく始めました。最近まで、鎌沢にも三木田にも、李岱には2軒もあったし、大きい部落にはみんな豆腐屋があつたんです。今では上杉とオラと2軒だけです。近くの小売店で売ってもらうのと、大豆をもつてたのみにきたのを豆腐にして返す方式で販売。「正月とか、人寄せがある時は遠方からも、たのみに来てくれる。田さ、豆植えるえんになって、豆持って来る人がふえだえんだしな。「何年も続けられねえやと思んす。豆腐食べねえやば、元気がつがねえやと言ってもらう時が一番うれしいんす。仕事さねやれば、体悪くなるえんて、なりなりの仕事が健康には一番いいようす。これから迎える年末年始がオマさんにとって最も忙しい日々になるのだそうす。

『必要な時に必要な分量の新鮮な豆腐を作ってくれる。がんばっているおばあさんを何とかほめてあげたい』-吉田三平さん(川井)から「私たちの宝です」とお手紙をいただきました。



33

## 一冊の本 武者小路実篤の 「友情」を読んで

合川南小学校六年  
御所野 真さん



若い読者に贈る言葉が、僕の心に語った。「百里歩くと、千里歩くと、百里歩かねばならぬ人と千里歩かねばならぬ人は、自づからその歩き方がちがわねばならぬ。(原文のまま)何とも、言えぬ言葉であり、強く僕の心の中に焼きつけられるように残った。

ひきつけられるように、読んでいくうちに、最後の方まで読んでみた。大宮の書いた内容は、君を尊敬している。偉大な人間として起きあがってくれていることを信じている。露骨に事実を示せば、君はかえっておこり悲しみに打ちかかってくると思う。またぼくは君にすまぬ同情をしようと思わない。この最後の手紙こそ真の友情にふれているものと思う。大宮の野島に対する冷酷な態度は決して冷酷ではなかったと思います。力強い人間になったとき、大宮に感謝したと思います。「友はうれしさを二倍にし悲しみを半分にする」と、言う、シラーの言葉がある。確かにそうであると思う。友との別れは、二倍以上に悲しい。だが、友は、心の中に永遠に残る。明日に向かうたびに、友の大切さを知る。シラーの語ること、この本の語ること。人の心を明るく、豊かにするのは「友情」ではないかと思つた。友の心を大切にすることを僕は達し失っていないだろうか。良き友を得、力強い心豊かな生活をしたものだと思つた。

広報無線を小学生で  
呼びかけました  
年末の交通安全運動は十二月

慶弔だより  
11月届

お誕生おめでとうございます  
坂上広太郎 修一郎長男 上杉  
松橋明日香 隆紀長女 三里  
金田 久幸 久良長男 西根田  
御所野めぐみ 勝次二女 駅前  
●謹んでお祝い申し上げます  
金田仁一郎 本人 西根田  
松岡イチ 母 羽根山  
伊東正男 本人 杉山田  
金田茂正 本人 西根田

町の人事  
十二月一日付  
総務課参事(同課長)  
安部辰之助  
出納室長兼専門検査員(国保診療所事務局長) 金田正蔵  
工藤 博  
福祉課長(出納室長兼専門検査員) 桜田竜治  
桜田竜治  
国保診療所事務局長を兼務(保健課長) 和田勇治  
和田勇治  
出納室主査(診療所) 田中ノリ  
田中ノリ  
出納室主任(総務課) 工藤啓子  
工藤啓子  
国保診療所主事(出納室) 正田慎子  
正田慎子  
農林課 同(出納室) 高橋良子  
高橋良子

善意のご寄付  
(敬称略)

〔香典返しにかえて〕  
金田清美 西根田(故父仁一郎)  
伊東克美 杉山田(故父 正男)  
松岡 博 羽根山(故母 イチ)  
金田久敏 西根田(故父 茂正)  
〔広報郵送料として〕  
秋田市飯島美砂町六一―一三〇  
一 (ぞうきん寄贈)  
摩当ことぶきクラブ  
南小学校 南保育園へ